

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スポーツイベント検定対策講座	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	スポーツビジネスコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	「チカラ解き放て スポーツイベントで社会を元気に」2014年度版（一社）日本イベント産業振興協会 発行				
担当教員情報					
担当教員	原田豊和	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
スポーツイベントの概要から、マーケティング、マネジメントなどを学習しますが、その他イベント業界の話題や注目されるイベントの事例、就職先としてのイベント制作会社の業務内容なども取り上げ紹介するとともに、ペアワークやグループワークを通じイベント企画からプレゼンテーションも学び理解します。					
到達目標					
行政や企業・団体などの主催者や制作者側からの視点を主にスポーツイベントの意義、マネジメントから経済効果や社会効果の知識を深め、またイベント企画や制作、運営についても事例などの紹介から、それらの業務や関わる職種の役割などを理解することができます。またグループワークでは、イベント企画書の作成やプレゼンテーションを実施する知識、技能を身に付けることができます。					
教育方法等					
授業概要	先ずはテキストから検定試験受験に必要な学習を行います。次に個人ワークやグループワークを採り入れ、イベント企画に必要な情報収集の方法、分析、アイデアの出し方を学びます。それらを企画にまとめ上げ、どのようにプレゼンテーションしていくのかまで行い、それによって論理的思考力を深めます。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視し、キャリア形成の観点からも授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。理由のない遅刻や欠席は認めません。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することが求められます（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えるようにしましょう。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価します。		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認します。		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認します。		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価します。		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション/学習の方法	テキストの構成や講座スケジュール、検定試験についての説明です。			
2回	テキスト第1～2章4節まで	スポーツイベントの概要から歴史的変遷、マーケティングからブランディングを学びます。			
3回	テキスト第2章第5節	スポーツイベントのマーケティングについて学びます。			
4回	テキスト第3章第6節	スポーツイベントの分類やイベントの構成要素6W2Hを学びます。			
5回	テキスト第3章第7～9節	スポーツイベントのプランニングを学びます。			
6回	グループワーク1	スポーツイベントのプランニングについて企画書作成(基本)のグループワークを行います。			
7回	テキスト第1章から第3章までの復習	反復的に学習することによって理解を深めます。			
8回	グループワーク2	スポーツイベントのプランニングについて企画書作成(応用)のグループワークを行います。			
9回	テキスト第4章第10節	スポーツボランティアの現状について学びます。			
10回	テキスト第4章	国際大会における通訳ボランティアについて学びます。			
11回	テキスト第5章	スポーツイベントの多様性(障がい者スポーツ)について学びます。			
12回	テキスト第5章	スポーツイベントの多様性(ユニバーサルスポーツと健康)について学びます。			
13回	テキスト第5章	スポーツイベントの波及効果について学びます。			
14回	テキスト第5章	スポーツイベントのサステナビリティ(持続可能性)について学びます。			
15回	総復習/検定試験準備	反復的に学習することによって理解を深めます。また、検定試験の概要について理解します。			